いということ。この順番を間違えてはいけないということです。

③ゴルフ（駅前スクールで特訓中です）

④技術継承と人材育成ですね。組織を支えるのは人であり、その人を大切にしない組織はダメです。上司も上からものを言うのではなく、仲間とともに育つ意識を持って部下の育成に取り組むべきだと思います。

⑤水道局総務部長、昭和38年5月29日

急がば回れ

さいたま市水道局長　蓮沼　利昭

①本市の場合、1人当たりの有収水量は減少していますが、給水人口の伸びが、それを補い、水道料金収入もここ数年は横ばい傾向で推移しています。しかしながら、将来的には、人口減少により水需要も減少していくと予想されることから、施設の統廃合やダウンサイジングにより、施設能力の適正化を進めていく予定です。

②「正しく整理すれば、そこには答えの半分が含まれている」一見遠回りのようでも、落ち着いて現状分析と基本の整理をするようにしています。

③日帰りツーリング、山歩き

④人口減少・少子高齢化、都市への人口集中・地方の衰退、社会資本の老朽化、長期的な経済の低迷、低い労働生産性、コロナ禍、昨今の物価高騰、異常気象による災害の頻発など、現代日本の抱えている課題は重いのですが、水道事業に従事する者として役割を果たしていきたいと思います。

⑤業務部長、昭和39年10月

丁寧な仕事を

秩父広域市町村圏組合水道事業水道局長　北堀　史子

①秩父地域の水道は大正13年に給水を開始し、来年で100周年を迎えます。本組合も平成28年4月秩父地域1市4町の水道事業を統合し早7年が経ちました。この間懸案であった料金体系の統合を行うほか、広域化基本構想・基本計画の完了予定年度である令和7年に向け、施設の統廃合等の事業を進めております。また今年度からは次期基本構想・基本計画策定に着手し持続可能な水道の構築を目指してまいります。

②特にはありませんが、どのような経験も仕事において無駄はない、ひとつひとつを丁寧に一生懸命に…と心がけています。

③ガーデニング、家庭菜園

④現代を取り巻く環境は台風や地震など自然災害のリスクが大きく高まっています。当組合でも令和元年の台風19号では取水施設を中心に甚大な被害を受け、近隣の水道事業体の皆さまには給水活動などご支援いただきました。今後広域化事業と老朽化施設の更新により強靱化を図ってまいりたいと考えています。

⑤秩父市市民部専門員兼市民課長兼パスポートセンター所長、昭和42年2月1日

新しい価値

前橋市水道局長　金田　芳明

①前橋市では、「水と緑と詩（うた）のまち」をキャッチフレーズに、水と緑にあふれる豊かな自然環境、絹遺産をはじめとする歴史文化、充実した医療環境、全国有数の農業生産力など本市が持つ恵まれた地域特性により、市民一人ひとりが個性と能力を生かし、個々に輝くことにより新しい前橋らしさを創造することを目指しております。私たち、水道事業に係わる者としての「水」とは、安全な水の供給を、安心して市民のもとに提供し続けられる「まち」にしていかなくてはならないと考え、局職員一丸となって事業に取り組んでまいります。

②朝、希望をもって目覚め、昼は懸命に働き、夜は感謝と共に眠る

③散歩と柔軟体操（お金のかからないトレーニングジム）

④世の中も、人も、変わらなくてはいけないもの、変わってはならないものを見極める事が重要だと思います。

⑤道路建設課長、昭和40年11月17日

一歩前へ

小田原市上下水道局長　西浦　真生

①小田原市では水道局と下水道部を組織統合し、令和3年4月から上下水道局を発足して3年目を迎えました。本市の約86％の配水量を担う高田浄水場の再整備を進めており、既存施設を稼働しながら、同一敷地内で膜ろ過方式の新施設に全更新するもので、民間活力を活用したDBO方式で行うこととし、令和11年度の完成を目指しています。また、「いつまでも安心でおいしい水をお届けします」の基本理念のもと「おだわら水道ビジョン（経営戦略）」を令和4年度に改訂し、新たな10年間の投資財政計画に沿って効率的な経営、より一層の経営基盤の強化に取り組んでまいります。

②「一歩前へ」：現状に甘んじることなく、一歩前へ踏み込んで仕事するよう心がけています。

③バイク

④上水道は日常生活に欠かせないものであり、災害時等においても「おいしい水」の安定供給を図ります。

⑤副局長、昭和41年11月22日

不易流行

流山市上下水道事業管理者　矢幡　哲夫

①流山市のキャッチコピーは「母になるなら流山市」。人口増加率日本一の当市ですが、増加率に負けない施設管理が急務です。歴史的街並みの旧市街地の耐震化はもちろん、今後の人口安定期に向けた施設更新、財政計画に取り組みます。

②仲良きことは美しき哉（武者小路実篤）、良い仕事は全職員の意欲的な取組みから生まれます。健康第一でいつも明るく仲の良い職場作りを心がけています。

③剣道で体力づくり、オートバイツーリングでの毎年の水源ダムの見学は欠かせません。地球規模の天候不順が飲み水に影響を与えないかに関心を払っています。

④なくてはならない上水道事業です。経営の効率化は当然ですが、これまで引き継いできた上水道事業を果てしない未来に胸を張って引き継げる仕事と世代交代のできる人材育成が常に必要です。安易な業務委託による経済最優先の政策が水道事業の破綻につながらないように声を上げ続けてまいります。

⑤土木部長、昭和37年5月27日

高品質を守る

宇都宮市上下水道事業管理者　大竹　信久

①宇都宮市の水道事業は通水開始から100年以上の歴史があり、町村合併による市域拡大や人口増加に伴う水需要増大に対応するため、昭和30年度から拡張事業を実施してきました。本市の水道は今市水系、松田水系、板戸水系、白沢水系、今里水系、謡辻水系の六つに分かれており、大谷川や鬼怒川といった豊かな水源から成り立っています。現在、人口減少に伴う料金収入の減少や老朽化した施設の更新、地震や豪雨といった災害対策など、課題は山積していますが、生活に必要不可欠な水道事業を継続していくためにあらゆる施策を行っていきます。

②一人はみんなのために　みんなは一人のために

③ゴルフ

④施設の老朽化対策や頻発化・激甚化する災害への対策、事業運営を効率化するためのDXの推進などの施策を着実に推進していくことで、質の高い水道サービス事業を次の世代へと引き継いでいきたいと思います。

⑤行政経営部長、昭和37年6月4日

柔軟な発想で

足利市上下水道部長　大竹　一弘

①少子高齢化や水道施設の老朽化など、水道事業を取り巻く全国的な課題は、本市の水道事業にも大きな影響を与えています。また、いつ起こってもおかしくない地震や洪水などの大規模災害への備えも必要です。このような状況のもと、本市の水が安心・安定的に市民に供給されるよう、将来の水需要トレンドや足利市総合計画などを分析、考慮した新たな経営戦略の策定に取り組みます。

②柔軟な発想で！（固定概念の打破）

③スキー

④水供給の源（水源）は地球的規模の水循環の一部であり、現在の地球温暖化などの影響を大きく受けるものと思っている。今後、水源規模の水不足の解消のため、私たち一人一人が、改めて水の大切さを認識しなおすとともに、地球温暖化の要因と言われているCO2の排出量削減に取り組まなければならないと感じている。

⑤都市計画課長、昭和39年12月24日

次の百年へ

岡崎市上下水道局上下水道部長　松澤　耕

①今年は本市の水道給水開始から90年、下水道事業着手から100年という節目の年を迎えました。栄えある年に就任できたことに感謝するとともに、上下水道の大切な資産を次の世代に引き継ぐべく、持続的で健全な事業運営の実現を目指してまいります。

②夢中になることが最高の才能

③スキー、登山、楽器演奏

④バブル崩壊後の失われた30年、「成長しない経済、増えない国家税収、伸びない実質賃金、貧困化する国民」など、私たちを取り巻く社会は暗さばかりが目立ちます。日本は先進国の中で取り残された国になってしまったのでしょうか。いえいえ、そんなことはないはずです。極めて高水準な日本の上下水道の技術力は、世界が欲しがるトップレベルのものです。今こそ国民に明るいメッセージを送り出す好機として、強い経済を再生するためには上下水道はもちろん、道路、鉄道、港、空港など、最高のインフラが必要だと訴える必要があると言えます。

⑤都市基盤部次長兼拠点整備課長、昭和40年8月22日

初心にかえる

豊川市上下水道部長　髙橋　純司

①水道事業の経営環境は、人口減少の進行や老朽資産の増加に加え、物価高騰の影響を受け、一層厳しさを増しています。その中で、平成30年度からの経営戦略で減少と見込んだ給水収益は、コロナ禍でおうち時間の生活様式が追い風となり、計画前期では増収となりました。結果、内部留保資金は増加となりましたが、経営戦略中間見直しでは、人件費、原材料費、動力費の高騰などもあり、一転減少すると見込みました。今後も管路や施設の更新など必要な施策を推進する一方で、経営基盤強化に取り組むことで、受け継いだ貴重な財産を次にも繋げていくことを目標に、安全でおいしい水の安定供給に努めます。

②原点回帰。できない理由ではなく、何ができるかを考えること。

③ウォーキング　高校野球観戦　TDL

④管路や施設の更新・耐震化を計画的に進めるため、制限緩和による財源支援をお願いします。

⑤上下水道部次長（水道）、昭和43年1月27日

進取果敢に

豊田市上下水道局長　田中　統

①水道事業経営を取り巻く環境は、人口減少等による収入の減少や老朽化や災害への対応など、非常に深刻な状況を迎えており、好転する兆しが見えません。将来展望を見据え、本市にとって何が必要で、今、何をすべきなのかを考え、出来ることは早急に対応することで、次世代に課題を残さないよう、基盤強化に取り組んでいきます。

②まず考えよう、とりあえず動いてみよう

③ツーリング、ソロキャンプ

④人口減少も少子高齢化も施設の老朽化も災害の激甚化も、これまでに経験したことのない危機であり、かつ早急に対応する必要があるものです。これまでは「誰かが何とかしてくれる、何とかなる」と考えてきた節がありましたが、これからは「自分達が、今、何とかしなければならない状況になっていることを、一人一人が再認識する必要があると思います。そういった意識をもって毎日を過ごしたいと思います。

⑤副局長

持続可能に

大垣市水道部長　河瀬　良康

①大垣市の水道事業は豊富な地下水等により、低廉なおいしい水を安定供給し、高い市民満足度を維持してきました。水道は市民生活や経済活動にはなくてはならない社会インフラであり、今後もめまぐるしく変化する社会経済情勢や、厳しさを増す経営環境の中、持続可能なサービス体制の維持、改善に努め、良質なサービスを次世代へ引き継ぎたいと考えています。

②上善水の如し・緩やかな前向きさをもって、やれることから少しずつ改善する

③ゴルフ・コロナ禍をきっかけに始めた家庭菜園

④昨年からのロシアによるウクライナ侵攻は、ロシアによる明らかな暴挙として目に映りますが、そこはそこに至る小さな源流があったものと考えています。われわれも自身の言動、選択がさまざまな事象を引き起こす源となることを認識し、真摯にその流れを予測、修正し続けることで、平和で持続可能な社会の維持構築に努めていきたいものです。

⑤都市計画部市街地整備課長、昭和41年12月20日

人材確保が要

土岐市建設水道部長　加藤　剛

①本市においても、施設の老朽化に伴う有収率の低下や、人口減少に因る水需要の低下等、健全経営を圧迫するような状況となっております。健全な水道事業の運営が重要なことはもちろんですが、水道は人が生活する上で最重要なライフラインであり、断水すれば飲料水から手洗いまで、住民生活へ非常に大きな影響を与えます。よって、少しずつでも確実に老朽施設への対応を進め、安心・安全な生活を営むための安定供給に尽力することが水道事業者の責務だと考えております。

②初心忘れるべからず

③ゴルフ・ランニング

④水道事業に必要な電気技術職や機械技術職はもとより、土木技術職の慢性的な人員不足の状態が続いております。このままでは特定の年代の空洞化が進み、技術支援や技術継承に支障を来たすことが容易に想像でき、近い将来責任ある施設の維持管理が出来なくなる恐れがあります。全国的な問題だと思いますが、何とか技術職員を増やす手立てを講じることが出来ないかと、日々頭を痛めております。

⑤建設水道部調整監兼土木課長、昭和40年10月25日

シフトチェンジを急務に

裾野市水道部長　石井　敦

①ライフラインを維持する仕事の重責を痛感している。

②「誠実にまさされる知恵なし」

③ドライブ

④人口減少社会へのシフトを急ぐ必要あり

⑤健康福祉部長兼福祉事務所長、昭和39年5月4日

知行合一

静岡市上下水道局長　渡辺　裕一

①静岡市の水道事業を

前橋市・金田氏

秩父広域市町村圏(組)・北堀氏

さいたま市・蓮沼氏

東京都・石井氏

足利市・大竹氏

宇都宮市・大竹氏

流山市・矢幡氏

小田原市・西浦氏

土岐市・加藤氏

大垣市・河瀬氏

豊田市・田中氏

豊川市・髙橋氏

岡崎市・松澤氏